



でも、がんばる行動

民主教育の確立を！教え子を再び戦場へ送るな！

団結！北薩！

はじめに

夏号

気がつけば7月。毎日が慌しく過ぎていく気がするのわただけでしょうか？ゆったり、のんびりと...という発想が働く人たち、その家族にとってどれだけありがたいか分からない管理者らは、矢継ぎ早に「あーせい」「こーせい」と指示を下してきます。

さて、参院選、知事選が終わりました。争点隠しの選挙戦がすすめられ、結果として改憲勢力2/3越えを許してしまいました。さっそく、改憲の動きが急ピッチにすすみそうです。現憲法下では初めて国会の発議要件をクリアしたわけですから、改憲勢力がこの機を逃すはずありません。「護憲」とは、平和と民主主義、そして基本的人権を最大限守ることです。国会発議のあとに待つのは「国民投票」です。今こそ、わたしたちが「争点」を明らかにし、まずは身近な人たちに来るべき日への備えとして語り始めなければなりません。

出水で(北薩地区支部として)初の定期大会

「出水会館はどこ？」という問い合わせもありました。川薩地域の方はなかなか訪れる機会はないかもしれませんが夏休みは各地の教育会館巡りなんていかがでしょうか？



鹿教組定期大会後の北薩支部団結

とりくみ教研ありました。

5月21日(土)、東郷小学校にて開催されました。開会行事では元鹿教組組合員の石巻専修大学・新福悦郎さんが「防災教育」をテーマにご講演をされました。5年経った今でも復興は道半ばであること、津波被害の教訓を学校現場でどう生かすか？など生の声を聞くことができました。その後、分科会が開かれ、活発な教育実践交流がなされました。



7月の行動は、「投票行動」でしたが、がんばりましたか？わたしは早々に期日前投票に行きました。これまでわたしは期日前投票にしか行ったことがありません。ということは・・・20代の頃は一度も投票に行くことはありませんでした。社会科を教えているのに・・・意識が高まったのは組合に入ってからです。学校現場におけるいくつもの改善すべき諸課題。学校現場においていくら「こうすべきじゃないか！」と正論をくり返しても、何も変わらない、無力なことって結構多いと気づきました。学校は子どものために存在します。子どもを置き去りにした学校にならないように。現場の声を届ける必要があります。ところで、ただいま、「**高校全入署名**」実施中です。8月いっぱいです。



「職専免研修」権を行使しましょう

夏季休業中の動静はどうなったでしょうか？1学期にとりこぼした土曜授業の「振替」は忘れていませんか？(ちなみに・・・現在、「土曜授業「振替」に関する調査」を実施しています。昨年度、県内で1校(1人)でも振替ができなかった事実があれば、当局は職員に振替の保障ができなかったということになります。実際、北薩地区内でも1校で発生しています。決して見過ごすわけにはいきません。)

さて、「職専免研修」権の行使が年々寂しくなっています。教育公務員特例法第21条には、「その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない」第22条には「授業に支障のない限り、本属長の承認を受けて、勤務場所を離れて研修を行うことができる」とあります。後世に残すべき「**絶滅危惧権**」保護のために積極的に行使しましょう。

☆シブ&県7-8月の行事計画☆

- 7/22 (金) 18:30 教研推進委員会 (川薩会館)
- 8/3 (水) 9:00 平和学習会 (さつま町太陽福祉センター)
- 17:30 分闘長会・川薩 (川薩会館)
- 8/4 (木) 17:30 分闘長会・出水 (出水会館)
- 8/6 (土) 9:00 肥薩大会 (熊本・球磨郡錦町)
- 8/20(土) 10:00 鹿教組学習会 (霧島観光ホテル) 21(日)まで
- 8/24 (水) 14:00 青年部女性部還流集会 (川薩会館)
- 13:00 基礎からの労安セミナー (互助組合会館)
- 8/26 (金) 13:00 常任委員会 (川内文化ホール)
- 13:30 支部本教研 (川内文化ホール)